

普及現地情報

発信年月日：令和2年(2020年)4月28日
所属名：湖東農産普及課
番号：F20002
部門分類：110(稲)
発信者名：須戸、木村

農業濁水防止活動推進事業における濁水対策の実証

県では、これまで様々な濁水対策に取り組んできたことで、河川透視度は長期的には改善傾向です。しかし、一部の河川では河川や土壌の特性上、依然濁りが大きいいため、改善に向けた一層の取り組みが必要です。

そこで、湖東管内では事業の一環として、濁りの大きい宇曾川流域を重点地域として、愛荘町西出に集落法人の協力を得て実証ほを設置しました。

実証ほでは3つの実証に取り組めます。

- 1) 農業濁水防止のための管理作業のポイントを押さえた「代かき改善区」
- 2) 石こうを散布して泥を沈降させる「石こう散布区」
- 3) 深水状態でも移植が可能な自動直進アシスト田植機を利用した「自動直進アシスト田植区」の3区を設定し、慣行技術との比較を行います。

実証ほの「石こう散布区」ではトラクタに散布機を装着した 荒代かき同時石こう散布を4月28日(火)に実施しました。5月9日には自動直進アシスト田植機による実証をする予定です。

当課では農業濁水対策の実証をしたのち、地域に応じた対策を波及させていきたいと考えています。



濁水の観察用カメラの設置



荒代かき同時石こう資材散布の様子